

# 太田一高附属中

体験・発見・体得 活躍の舞台は世界

*Create your future  
at will!*



SCHOOL GUIDE 2021

# 創立120年の歴史に 新たな1ページを刻みます



国指定重要文化財 旧茨城県立太田中学校講堂



## 教育方針

自主的精神に満ちた、心身共に健康で、  
社会や国家に貢献し得る有為な人材の育成

## 育てたい生徒像

- ◇ 何事に対しても真摯に誠実な心で向き合う人間性豊かな生徒
- ◇ 心身ともに健康でたくましく、豊かな心で社会に貢献できる生徒
- ◇ 自ら進んで課題に取り組み、新たな価値を創造する生徒
- ◇ 次世代を創造し、グローバル社会をたくましく生き、世界にはばたく生徒

## 学校の沿革

- 明治33年 茨城県立水戸中学（現水戸一高）太田分校として発足
- 明治35年 茨城県立太田中学校として独立
- 昭和23年 茨城県立太田高等学校と改称
- 昭和24年 茨城県立太田第一高等学校と改称
- 昭和51年 旧講堂が国の重要文化財に指定
- 平成12年 創立百周年記念式典挙行
- 平成15年 進学重視型単位制に移行
- 令和元年 併設型中高一貫教育校に移行
- 令和2年 附属中学校開校  
創立百二十周年記念式典挙行

## 学校長あいさつ 太田第一高等学校附属中学校長 森田 一洋

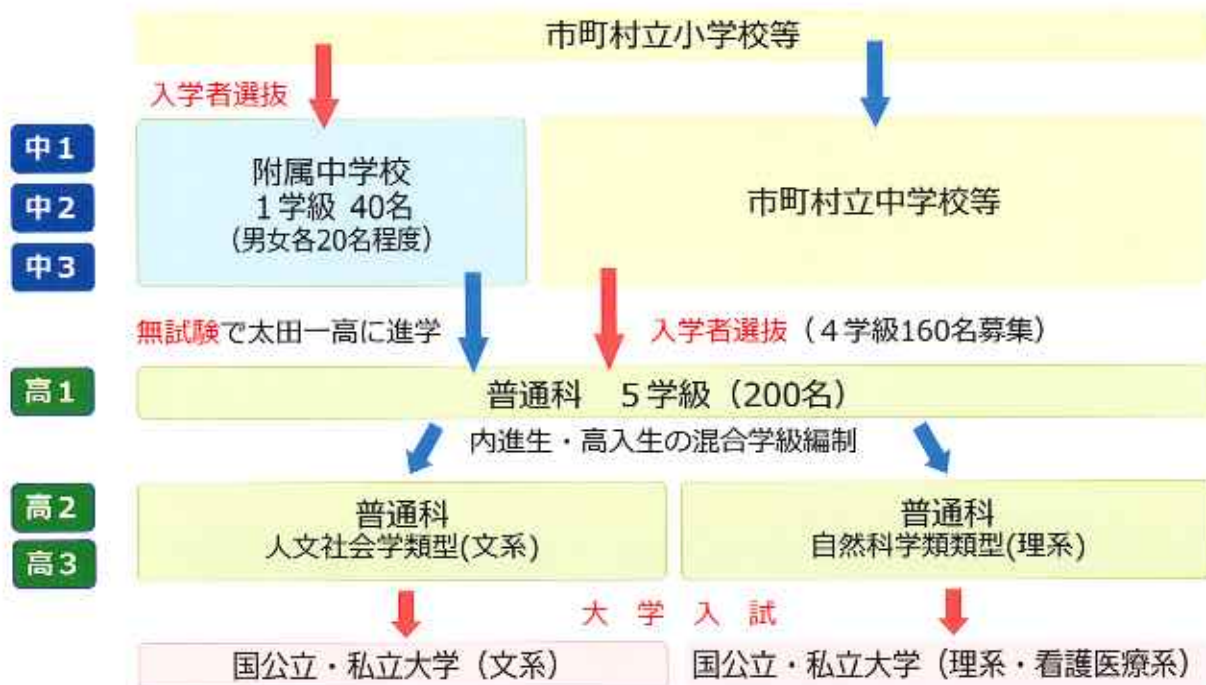
併設型中高一貫校茨城県立太田第一高等学校・附属中学校長の森田一洋です。  
小学生の皆さん、夢はありますか。将来何になりたいですか。将来就きたい仕事はなんですか。そんな夢や希望を叶える学校が、茨城県立太田第一高等学校、そして茨城県立太田第一高等学校附属中学校合わせた併設型中高一貫校茨城県立太田第一高等学校・附属中学校です。  
本校は、創立120年の県内屈指の歴史と伝統を有する県立太田第一高等学校のノウハウを基盤として令和2年度に開設しました。社会の発展とともに常に進化を図っている学校です。また、伝統校に相応しい学校行事やグローバル化に対応した海外研修、そしてICTを駆使した教育にも取り組んでいます。

さらに、生徒の豊かな人間性、頑健な体力、強靱な精神力、自主性・自律性・社会性・奉仕の精神等を涵養するため部活動や生徒会活動にも力を入れており、生徒と教師の心のふれあいを大切にしている学校であり、充実した学園生活の場もたくさんあります。

今年度も校訓「至誠・剛健・進取」の下、文武不岐の精神で、教職員、生徒ともども一丸となって、本校の教育目標の具現化に取り組んでいきます。君もこの中高一貫校太田一高・附属中学校で6年間を計画的・継続的に学び、自分の夢を実現してみませんか。



## 学科・学級の編制



- 附属中学校卒業後は、学力検査を経ずに太田一高に進学します。
- 高校1年で、附属中学校から進学する「内進生」と高校から入学する「高入生」とを混合する学級編制をし、互いに刺激し合って切磋琢磨することによって、学習意欲の持続・向上と豊かな人間性の育成に努めます。
- 附属中学校で先取り学習を行う数学・英語等については、高校において進度別や習熟度別で授業を展開するなどの対応をします。

## 教育課程・カリキュラム

学習指導要領で定めた標準授業時数（週当たり）

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
1年	国語 4		社会 3		数学 4		理科 3		読 1.3	雑 1.3	保健体育 3	技・家 2	英語 4		聴 1	総合 1.4	特 1												
2年	国語 4		社会 3		数学 3		理科 4		読 1	雑 1	保健体育 3	技・家 2	英語 4		聴 1	総合 2	特 1												
3年	国語 3		社会 4		数学 4		理科 4		読 1	雑 1	保健体育 3	技・家 1	英語 4		聴 1	総合 2	特 1												

3時間増

附属中学校で実施する授業時数（週当たり）

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32
1年	国語 4.5 (+0.5)		社会 3		数学 4.5 (+0.5)		理科 3		読 1.3	雑 1.3	保健体育 3	技・家 2	英語 5 (+1)		聴 1	総合 2.4 (+1)	特 1															
2年	国語 4.5 (+0.5)		社会 3		数学 4.5 (+1.5)		理科 4		読 1	雑 1	保健体育 3	技・家 2	英語 5 (+1)		聴 1	総合 2	特 1															
3年	国語 4 (+1)		社会 4		数学 5 (+1)		理科 4		読 1	雑 1	保健体育 3	聴 1	英語 5 (+1)		聴 1	総合 2	特 1															

- 学習指導要領が定める標準授業時数より週当たり3時間（年間105時間程度）多く授業を実施し、学力の深化を図ります。
- 国語・数学・英語は全学年、総合的な学習の時間は1学年において授業時数を増加します。
- 数学・英語では先取り学習を行います。また、国語・社会・数学・理科・英語では、クラスを2つに分け少人数授業や習熟度別授業を展開します。（※社会・理科は1学年のみ）

# 6年間一貫の特色ある教育活動



## 太田第一高等学校・附属中学校

体験に根ざした国際教育により、グローバル社会を支える人財を育成

併設型中学校 1学級  
併設型高等学校 5学級

### 青龍タイム

中学校での取組 教科等横断的な視点による教育活動の展開	<b>探究活動</b> 地域探究セミナー 「常陸太田の歴史文化遺産」 「常陸太田の産業・自然・観光資源」等 国際教育 国内語学研修・海外中学校体験留学 ○プリティッシュヒルズ ○オーストラリアの中等教育学校体験留学 ALT副担任 ○朝の会や英語以外の授業での交流 科学教育 科学講演会 ○持続可能な社会に向けた取組(社会科) ○再生可能エネルギーの利用(理科)等 主体的な学びを支える ICT 1人1台Chromebook環境 ○学習アプリ活用による個に応じた学び ○遠隔教育システムを活用した国内外学校・団体等との交流 等	地域理解 社会参画力 問題発見・解決能力 グローバル化に対応するコミュニケーション能力 英語準2級程度以上の英語力 異文化理解 科学的リテラシー 学びに向かう力 創造力 情報活用能力 情報モラル 協働と協働する力	青龍探究プログラム 「グローバルな視点から地域探険」 「日本・世界の文化比較」等 姉妹校(オーストラリア)との相互交流、キャリア教育【拡充】 ○現地大学・企業と連携したキャリア教育 ○相互交流を通じた異文化理解 実践力を高める英語特別講座 ○ALTを活用した英語運用力の育成 大学との連携によるワークショップ ○人文、経営、教育、理学、工学、医療等 BYODによる1人1台環境【予定】 ○学習アプリ及びe-Portfolioの活用 ○遠隔教育システムを活用した国内外学校・団体等との交流学習	将来のイメージ 国内外の様々な分野で活躍 国際機関職員 グローバル企業職員 実業家 医療従事者 教員 官公庁職員 ITエンジニア プログラマー 等 主な進路(入学)実績 東北大 茨城大 筑波大 県立医療大 早稲田大 等
	無線LAN環境及びALT(複数人配置)を活用した教育活動の展開 輝け！私たちの未来「探究プロジェクト」 複数担任制・高校生との異年齢交流	高校での取組(イメージ) 混合学級編制 内進生・高入生の切磋琢磨	教育課程(イメージ) ※新学習指導要領の全面実施(令和4年)に向けて、新たな教育課程や類型コース等についての検討をしています。	

教科学習 ◇授業時数増(国語・数学・英語・総合) ◇習熟度別授業等(国語・数学・英語) 国語 学習アプリ活用 ○複数の意見等を議論して整理・共有 ○プレゼンテーション等の言語活動を充実 先取り学習(教育課程の特例) ○関連ある高校内容を発展的に学習 学習アプリ活用 ○協働によるデータの比較・分析等 数学 先取り学習(教育課程の特例) ○関連のある英語表現を発展的に学習 ALT・学習アプリ活用 ○プレゼンテーションやディベート等の実践的な授業を展開 英語	言語能力 読解力 説明・発表力 数学的リテラシー 論理的思考力 批判的思考力 英語によるコミュニケーション能力 英語準2級に相当する英語力	高1年 共通 現代の国語 数学Ⅰ 言語文化 生物基礎 体育 英語コミュニケーションⅠ 家庭基礎 等 選択 《芸術》音楽Ⅰ 美術Ⅰ 書道Ⅰ	高2・3年 共通 論理国語 数学Ⅱ 体育 英語コミュニケーションⅡ 情報Ⅰ 等 選択 《数学》数学Ⅲ 《地歴》日本史探究 地理探究 世界史探究 《理科》物理 化学 生物 《芸術》音楽Ⅱ 美術Ⅱ 等
--	---	--	---

### 計画的・継続的な国際教育

人的交流 異文化理解 語学研修

3年  
海外中学校体験留学  
2~3週間  
1人1家庭のホームステイ  
現地校で学習

2年  
国内語学研修  
プリティッシュヒルズ(2泊3日)

1年  
イングリッシュ・スタディ  
県立附属中・ALTとの交流(1泊2日)

### 豊かな人間性と

### コミュニケーション能力の育成

- 複数担任制によるきめ細かなサポート
- 学校行事・部活動などでの異年齢交流
- 県立附属中や地域との連携と交流



### 地域資源を活用した探究活動

- 輝け！私たちの未来「探究プロジェクト」  
➡ R2開校県立附属中5校と連携
- 青龍タイム「地域探究セミナー」  
➡ 地域を探究し、地域に提言・発信！  
高校と協働の探究活動発表会



### 確かな学力を身に付ける学習活動



- 教育課程の特例を生かした先取り学習と授業時数の増
- 国語・社会・数学・理科・英語の1学年2グループ展開による少人数・習熟度別授業  
※社会・理科は1学年のみ(予定)
- 主体的な学びを支えるICT

1人1台端末(Chromebook)・Wi-Fi環境・大型電子黒板の整備

# 主な学校行事予定

前期		後期	
● 入学式・始業式・対面式	4	10	リリーデイル校(豪)留学生来校 ●
● オリエンテーション合宿			青龍祭(芸術鑑賞会/文化講演会) ●
● 卒業50・25周年祝賀式			科学講演会 ●
● 第1回一斉試験	5		第3回一斉試験
● 未来の自分発見講座		11	HRセミナー ●
● HR進路講演会	6		県学力診断のためのテスト(3年)
● 文化週間			マラソン大会 ●
● 第2回一斉試験	7	12	合唱コンクール ●
● 高校野球応援			第4回一斉試験
● イングリッシュ・スタディ(1年)	8	1	県学力診断のためのテスト(1・2年)
● 国内語学研修(2年)			
● 海外中学校体験留学(3年)		2	学年末試験
● 探究意見交換会	9		探究活動報告会 ●
● 体育デー		3	探究活動成果発表会(3年) ●
● 職場体験合宿(2年)			修了式・卒業式 ●

● 高校との合同行事   ● 中学校のみの行事   ● 宿泊を伴う行事   ● 県主催5校連携行事

- ▶ 太田一高・附属中学校ともに前期・後期の2学期制です。
- ▶ 太田一高の伝統を継承し、中高合同の行事を行います。これにより異年齢交流を促進し、豊かな人間性やコミュニケーション能力を育てます。
- ▶ 青龍祭は、3年に1回開催します。青龍祭を開催しない年は文化講演会か芸術鑑賞会を実施します。
- ▶ 県主催5校連携行事(輝け! 私たちの未来「探究プロジェクト」)は、令和2年度開校の県立付属中学校5校の生徒が協働で事業を企画・立案し、運営することをとおして、豊かな人間性や社会性、地域や世界で活躍するために必要な資質などを育てることをねらいとした行事です。



## 附属中生の一日(1年生の例)

国・社・数・理・英では、1クラスを2つに分けて授業を展開します。

8:20登校完了です。

1単位時間は50分です。

市の給食センターからおいしい給食が提供されます。

水・木曜日は7時間授業です。

日課	グループ	月		火		水		木		金	
		A	B	A	B	A	B	A	B	A	B
SHR	8:20~ 8:25	朝の会・健康観察									
1	8:30~ 9:20	英	数/国	道徳	社	国	美術	数	英		
朝学習	9:25~ 9:30	朝読書・朝自習									
2	9:35~10:25	社	理	数	理	数	英	社	数	国	理
3	10:35~11:25	音	理	英	保体	数	国	保体			
4	11:35~12:25	理	英	英	数	英	社	英	社	保体	
給食	12:25~13:10	給食・昼休み									
5	13:15~14:05	数	社	国	国	国	英	国	英	理	数
6	14:15~15:05	保体	音/美/総	技家	総合	英	国				
7	15:15~16:05	部活動なし		部活動		技家		総合		部活動	
SHR	~15(16):10					部活動		部活動			
清掃	~15(16):30					部活動(文化部)					
完全下校時刻		【夏季】18:00		【冬季】17:30							

- ▶ 普通教室・特別教室ともにエアコン完備、大型電子黒板・Wi-Fiアクセスポイントなど整ったICT環境で、快適なスクールライフを送ることができます。

## 部活動

高校生との交流をとおして技術や人間性を高めます。

### 運動部

ラグビー (男)



バレーボール (女)



バスケットボール (男)



剣道 (男女)



卓球 (男女)



## 文武両道



### 文化部

英語研究



生物



弁論



- 可能な範囲で中高合同で活動します。
- 全員の部活動加入を推奨します。兼部も可能です。

## 制服

### 夏服



### 冬服



- ◇ 女子用スラックスを選択することができます。

## 先輩からのメッセージ



1年  
海老根 夏鈴

(常陸太田市立金砂郷小学校出身)

私の夢は、養護教諭です。その夢の実現のために、この附属中学校でコミュニケーション能力と学力を高めていきたいと思い入学しました。初めは不安もありましたが、新しい友だちができたり、先生方が親身になって相談に乗ってくださったりしたので、楽しく学校生活を送れるようになりました。小学生のみなさん、この附属中学校で、私たちと一緒に楽しい学校生活を送ってみませんか。



1年  
大友 直毅

(水戸市立渡里小学校出身)

僕は将来、天文学に関わる仕事に就きたいと考え、よりレベルの高い学習をするために、この附属中学校を受検しました。入学して分かったことは、パソコンを一人一台使えたり、少人数の授業を受けられたりするなど、この学校には勉強に集中できる環境が整っていることです。部活動にも力を入れていて、文武両道で力を付けることができます。みなさん、僕たちと一緒に楽しく学びましょう。



1年  
小島 優果

(那珂市立菅谷東小学校出身)

私は今、この附属中に入学して良かったと思っています。なぜなら、周りの友だちと切磋琢磨しながら学習し、自分の学力を高められるからです。特に、Chromebookを使った学習が役立っています。また、中高一貫教育校なので、部活動や学校行事などで太田一高生と関わることができてとても楽しいです。小学生の皆さん、私たちと一緒に充実した学校生活を送りましょう。お待ちしております。

### 出身小学校別生徒数

常陸太田市					常陸大宮市				那珂市			ひたちなか市		水戸市		日立市	合計							
太田	磯初	佐竹	菅田	世矢	金砂郷	久米	水府	里美	上野	大宮	大宮西	山方南	額田	菅谷	菅谷東	菅谷西		芳野	前渡	佐野	渡里	双葉台	水木	
4	1	1	1	2	2	1	1	2	2	3	3	1	1	1	2	1	2	1	2	1	1	1	1	37

# 入学者の募集・選抜Q & A

Q1 応募資格は？

A1 応募できる者は、次の(1)及び(2)のいずれにも該当するものとします。

- (1) 小学校もしくはこれに準ずる学校又は義務教育学校の前期課程を令和3年3月に卒業又は修了見込みの者
- (2) 保護者とともに県内に居住する者（入学日までに保護者ととも県内に居住することが確実な者を含む）

Q2 募集定員は？

A2 40名です。（男子20名程度、女子20名程度）

Q3 入学選抜の日程は？

A3 次の日程で進めていきます。

期 間	予 定
令和2年12月1日(火)～3日(木)	出願受付 ※簡易書留の配達日指定郵便に限る（期間内必着）
令和3年1月9日(土)	選抜検査
〃 1月20日(水)	合格者の発表 ※学校ホームページで発表 午前9時
〃 1月22日(金)・25日(月)	入学確約書提出

Q4 出願の際の提出書類は？

A4 次の書類が必要になります。

提出書類等	備 考
入 学 願 書	1部。入学選抜手数料として、茨城県収入証紙2,200円分を貼る。
受 検 票	1部。出願前3か月以内に撮影した正面上半身無帽の写真（横3cm×縦4cm）を貼る。
写 真 票	1部。受検票に貼ったものと同じ写真（横3cm×縦4cm）を貼る。
志 願 理 由 書	1部。志願者本人が直筆で記入する。
調 査 書	1部。志願者の在籍する小学校の校長が作成し、厳封したもの。
受検票送付用封筒	1通。送付先の郵便番号、住所及び志願者本人の氏名を明記し、440円分の切手(簡易書留用)を貼る。
選抜結果通知用封筒	1通。送付先の郵便番号、住所及び志願者本人の氏名を明記し、410円分の切手(速達用)を貼る。

Q5 入学選抜検査の内容は？

A5 入学選抜検査の内容は、次のとおりです。

種 別	内 容
適性検査Ⅰ（45分）	小学校で学習した内容を基に、思考力、判断力及び課題を発見し解決する力などをみる。
適性検査Ⅱ（45分）	文章や資料を基に、読解力、分析力及び自分の考えを表現する力などをみる。
面接（20分間程度）	5人程度を1グループとした集団面接とし、学習への意欲や6年間一貫の学校生活への適性などをみる。

## スクールバス

2020年8月現在



¥11,000/月

¥9,000/月

登校時1便  
下校時2便 運行

太田二高・西山高との  
共同運行

- 運行時刻・停車箇所・運賃は、生徒の実態等により変更することがあります。
- 利用希望者の状況によって、他の地域からの運行も検討します。





# 茨城県立太田第一高等学校 附属中学校

〒313-0005

茨城県常陸太田市栄町58番地

TEL 0294-72-2115

FAX 0294-72-2119

URL <http://www.ota1-jh.ibk.ed.jp>



## アクセス

JR常陸太田駅から徒歩約25分。または、茨城交通バス乗車、太田一高前下車